

令和
元年度

地産地消等優良活動表彰

地産地消は、地域の生産者と消費者を結びつけ、食料自給率の向上を図る上で重要であるほか、直売や加工などの取組を通じて農林漁業の6次産業化による地域の活性化にもつながるものとして、一層の推進が求められています。また、国産農林水産物の魅力を広く発信することを通じ、消費者に日本の食や農林漁業への理解を促し、国産農林水産物の消費拡大を推進していくことも重要です。

そこで、全国各地のそれぞれの立地条件を活かした創意工夫のある様々な地産地消及び国産農林水産物・食品の消費拡大を推進する取組・活動を募集し、その成果や持続性、地域への寄与等について優れたものを選考の上、表彰しています。表彰された取組内容を広く紹介することで、自主的な取組を促進し、更なる地産地消や国産農林水産物の消費拡大の推進を目的に実施します。

表彰部門

生産部門

農林水産物を生産する
団体・企業等

教育関係部門

保育園、幼小中高校、大学、
学校給食会等

食品産業部門

農林水産物を加工・流通・
販売する団体・企業等

個人部門

地産地消を推進する個人

表彰の種類

農林水産
大臣賞
4点程度

文部科学
大臣賞
1点程度

農林水産省
関係局長賞
7点程度

全国地産地消
推進協議会
会長賞
適宜

主 催

農林水産省・全国地産地消推進協議会

地産地消等優良活動表彰の審査結果について

選定の概要

- (1)応募期間：令和元年 6 月 24 日～ 8 月 9 日
- (2)応募者数：87 件(4 部門合計)
- (3)審査：審査委員による書類審査及び審査委員会、現地審査を経て、受賞者を決定。
- (4)審査基準：主に取組の持続性、農林水産業の振興への貢献、安定的な生産・供給、利用促進による消費拡大、理解増進について評価。

審査委員名簿（五十音順・敬称略）

音羽 和紀	オトワレストラン	オーナーシェフ	野見山 敏雄	東京農工大学大学院農学研究院	教授
勝本 吉伸	株式会社シンセニアン	代表取締役	菱山 まり子	八王子市農業協同組合	生産者
田中 延子	淑徳大学看護栄養学部	東京家政学院大学 客員教授	山際 博美	株式会社山際食彩工房	代表取締役
中村 貴子	京都府立大学生命環境科学研究科	准教授			

部門(応募件数)	賞	活動主体の名称
生産部門 (19 件)	農林水産大臣賞	鳥取いなば農業協同組合(鳥取県)
	農林水産省食料産業局長賞	株式会社長谷川農場(栃木県) 紀の里農業協同組合(和歌山県)
食品産業部門 (46 件)	農林水産大臣賞	株式会社おくや(福島県) 企業組合 彩雲(兵庫県)
	農林水産省食料産業局長賞	株式会社東北協同事業開発(宮城県) 朝日町農村女性グループ連絡協議会(富山県) 株式会社金トビ志賀(愛知県)
	全国地産地消推進協議会会長賞	チーム能登喰いしん坊(石川県)
教育関係部門 (15 件)	文部科学大臣賞	滑川市学校給食共同調理場(富山県)
	農林水産大臣賞	立山町学校給食センター(富山県)
	農林水産省食料産業局長賞	新宿区立落合第六小学校(東京都)
個人部門(7 件)	農林水産省食料産業局長賞	村上 直江(岐阜県)

令和元年度
農林水産
大臣賞
生産部門

鳥取いなば農業協同組合

鳥取県

「不毛の地」を逆手に取った 「鳥取砂丘らっきょう」で産地を活性化

山陰海岸国立公園の特別保護区として指定されている鳥取砂丘に隣接した砂丘畑で「鳥取砂丘らっきょう」を栽培しており、風土・土壌等の環境及び一貫した生産販売体制を維持してきたことで市場等でも高い評価を受けています。

2016年には「鳥取砂丘らっきょう」が地理的表示保護制度(GI)に登録され、栽培面積が120haにまで拡大しています。10月下旬には薄紫色のらっきょう畑が一面に広がることで風物詩となっています。

近年では、生産者と連携して地域の小・中学校との交流を通して職場体験の受入や収穫体験の受入などの食農教育にも取り組んでいます。



らっきょう畑



根付らっきょう



根付風景